

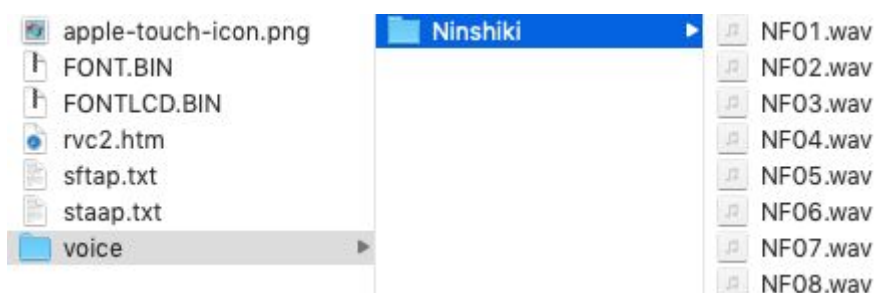
Robi2 BLE Voice Controllerインストール手順

① ロビ2のBLE対応のロビのココロを作る

1. microSDにロビのココロの複製を作ります。初版のロビのココロには対応していませんので、再販、3版、ココロ2などをご用意下さい。
2. 同梱のファイルの中にAppsフォルダがあります、その中に「**STARTUPBIN Modifier for BLE**」というアプリがあるので起動します。
3. 性格設定がまだの場合、性格設定のプログラムが起動してしまうので、もしまだロビで動かしていないロビのココロの複製を用意した場合は、**STARTUPBIN Modifier for BLE**のステップ0の「性格設定を変更」のボタンをクリックして、ロビのココロに入っている性格.LOGファイルを書き換えて下さい。
4. **STARTUPBIN Modifier for BLE**のステップ4で「BLE用に変換」ボタンをクリックして、今回新しく複製を作ったロビのココロの中にある「STARTUP.BIN」を選択して、BLE対応のSTARTUP.BINに書き換えをします。
5. これでロビ2のBLE対応のロビのココロの作成は終了です。このmicroSDをロビ2のメインのマイコンボードに入れて下さい。

② M5Stackに入れるmicroSDを作る

1. M5Stackに入れるmicroSD (UHS-I class10以上, サイズ32GB以下、FAT32) を用意します。すでにM5Stackで使っているmicroSDを使っても構いません。
2. その中にvoiceという名前のフォルダを作ります。
3. 次に、ロビのココロの中にvoiceフォルダがあります。その中に「Ninshiki」という名前のフォルダがあるので、microSDのvoiceフォルダの中にコピーします。
4. <https://github.com/Tamakichi/Arduino-KanjiFont-Library-SD> を開く。
5. 「Clone or download」でDownload ZIPを選び、ダウンロードする。
6. ダウンロードしたファイルの中に、fontbinというフォルダがあり、その中に、FONT.BIN, FONTLCD.BINというファイルがあるので、これら2つのファイルを今回用意したmicroSDにコピーします。
7. 同梱のファイルの中にmicroSDフォルダがあります、その中にM5Stackフォルダがあり、その中にファイルがいくつか入っています。それらのファイルをmicroSDにコピーします。
8. staap.txtは自宅のWiFiに接続するためにSSIDとパスワードを書いたファイルです。エディタで、**接続WiFi名,パスワード**を書いて保存しないして下さい。なおM5Stackは5GHz帯に対応していませんので、**2.4GHz帯のSSIDを設定**して下さい。
9. sftap.txtはM5Stackがアクセス先になるためのSSIDとパスワードになります。デフォルトでは、**RoVoCoMo2,abcd1234**となっています。WiFiステーションがない外出先でスマホでコントロールするためにアクセス先名とパスワードです。これもお好みでお好みの名称やパスワードに変更して下さい。
10. これでM5Stackに入れるmicroSDの作成は終了です。このmicroSDをM5Stackに入れて下さい。

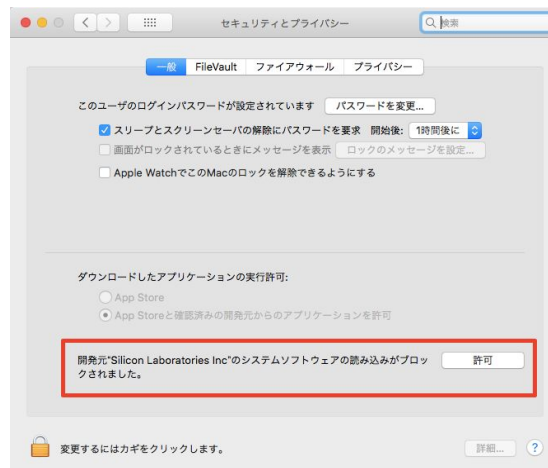


③ USBドライバーをインストールする

M5Stackをコンピュータと繋いで、プログラムの転送など通信するためには、Silicon LabsのUSBDriverをインストールする必要があります。もしまだインストールしてなければ以下のサイトを参考にしてインストールして下さい。

https://docs.m5stack.com/#/ja/related_documents/establish_serial_connection

なお、Macの場合、インストールしただけではセキュリティが通ってないので、インストール後、環境設定のセキュリティとプライバシーの一般で、インストールしたドライバーの許可をして下さい。



④-A M5StackにプログラムをArduino IDEで入れる場合

Arduino IDEを使わない場合は、次の④-Bの方法を行って下さい。 Arduino IDEを使う場合は、Arduino IDEのインストールおよびEsp32やM5Stackが使えるような環境設定が必要です。

1. ダウンロードした、このRobi2 BLE Voice ControllerのフォルダをフォルダごとArduinoのスケッチ保存フォルダに入れて下さい。
2. Robi2 BLE Voice Controller.inoをArduino IDEで開いて下さい。
3. ボード設定は図のようにして下さい。

```
ボード: "M5Stack-Core-ESP32"  
Upload Speed: "921600"  
Flash Mode: "QIO"  
Flash Frequency: "80MHz"  
Partition Scheme: "No OTA (Large APP)"  
Core Debug Level: "なし"  
シリアルポート: "/dev/cu.SLAB_USBtoUART"
```

4. 左上の2つめの「マイコンボードに書き込む」のボタンをクリックすると、プログラムのコンパイルが行われ、プログラムを転送されます。

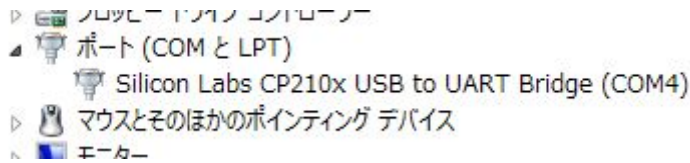
④-B M5Stackにプログラムをインストーラーで入れる場合

1. **M5Stackに付いてきたUSBケーブルでパソコンとM5Stackを繋いで下さい。**
2. 同梱されているファイルの中にAppsというフォルダがあります。その中に「MicEspInstaller」というアプリがあります。これを起動して下さい。

3. USBシリアルポートをM5Stackのポートに設定します。

Macの場合はポートに名前がつくので「**SLAB_USBtoUART**」という名前のポートを選んで下さい。

Windowsの場合は、COM3とか、COM4とかの名前になっています。ひとつしか表示されてなかったら、それがM5Stackのポートでしょう。もしいくつか表示されているようだったら、コントロールパネルから、デバイスマネージャのポートをみて番号を確認して下さい。例えば以下の図の場合だとCOM4であるということになります。



4. あとは、「開始」ボタンをクリックすれば、プログラムの転送が始まります。

5. プログラムの転送が終わるとM5Stackがリセットされ起動します。

⑤ Robi2 BLE Voice Controllerの操作

QRCode

- 起動するとスマホから操作する場合のアクセス先のURLのQRCodeが表示されます。
- 左のQRCodeが外出先などで使うソフトAPのQRCodeでsftap.txtで設定したSSIDとパスワードになります。右のQRCodeが自宅のWiFiに接続して使うためのQRCodeでstaap.txtの設定で接続したものになります。
- 左のボタン、中央のボタンで2つのQRCodeをひとつだけの表示にできます。左のQRCodeにアクセスする場合は、まず環境設定からWiFiの接続先をsftap.txtで設定した名称のアクセス先に切り替えて下さい。右のQRCodeにアクセスする場合はスマホのWiFiの接続先がstaap.txtのSSIDと同じでなければいけません。
- QRCodeリーダーのアプリで読み取ってブラウザで開いて下さい。ブラウザはGoogle Chromeがおすすめです。
- ブラウザでボタン類が表示されたら、M5Stackの右のボタン「OK」を押して下さい。

音声再生（M5Stackのボタンで操作）

- 黄色く表示されている音声再生が再生される音声です。
- マイナスとプラスと書かれてる左と中央のボタンで音声を選択して下さい。
- 長押しを続けているとどんどん早く番号が進みます。
- 動作させたい音声を選択できたら、右の「選択」ボタンを押します。
- ボタンが「選択」から「再生」に変わりますので、もう一度押すと音声の再生後、ロビ2に信号が送信され、ロビ2が動作を開始します。
- なお、「選択」ボタンを押すと、左と中央のボタンは(5)と(1)となります。ここでもし(5)を選択すると、マイナスとプラスが-5と+5になり、音声メニューが5ずつ進むようになります。

電源・リセット

- 左のボタンと中央のボタンを同時に押していると電源を切ることができます。
- 左側面の赤いボタンがリセットボタンです。